**一般財団法人日本財団学生ボランティアセンター**

**2015年度事業計画案**

一般財団法人日本財団学生ボランティアセンターは、以下の5本の柱を持って事業を行う予定です。

１．Gakuvo Style Fund

「世界をよくする」という大きな目的のもと、具体的な実施計画を持ち、実施する力を持つ団体を対象に、3種類のコースを設置し、ボランティアを行う学生の団体を支援。

2．大学協働

(1)　大学での寄附/連携講座の実施

目的：社会貢献における様々な活動を紹介することにより、大学生に対して社会貢献活動への動機付けを行うと同時に、学生と意見交換することにより学生のニーズなど情報収集を実施。

内容：大学での寄附・連携講座の開催：16の大学との協働活動を予定。

　　　NPOとしての協定締結校（2015年3月現在）

　　　　　早稲田大学、千葉大学、東北福祉大学、東京海洋大学、大阪大学、追手門学院大学、日本文理大学、中央大学、聖心女子大学、愛知淑徳大学、麗澤大学、了徳寺大学、明治学院大学、順天堂大学、嘉悦大学、関西学院大学\*、

(2)　ボランティア学習に関する教科書出版

3．学生ボランティア派遣

参加した学生がボランティア活動に対して高い問題意識を持つようにコーディネートする。

(1)　ながぐつ　年間24回程度。福島県いわき市に派遣。

(2)　大学の授業の一環又は課外授業として、更には大学の部活動単位で参加する学生ボランティア活動。計6大学を、福島県いわき市他に派遣。

４．セミナー/シンポジウムの開催

(1)　PR力コンテスト（V-1)の開催：学生ボランティア団体の広報スキル向上を目指す。

(2)　ボランティアシンポジウムの開催：ボランティア活動に取り組む学生の学びの場として、また各地でボランティア活動に取り組む学生の交流の場として全国の学生を対象としたシンポジウムを開催。

(3)　災害ボランティア養成セミナー：災害発災直後に派遣する学生ボランティアが、被災地で直ちに活動ができるために、平時に災害ボランティア養成セミナーを各大学のボランティアセンターの協力を得て実施。

５．運営管理

(1)　インターン事業：本センターの行う事業の企画・運営を学生主体にすることにより、学生のニーズにあった運営を行うと同時に、学生が社会体験を通じて成長する機会を提供。EMACの出版。

(2)　情報発信：日本財団学生ボランティアセンターとしての活動、及びボランティア活動を始め様々な活動や情報の発信を有効に実施。

(3)　一般管理